

March 18, 2005

労働政策フォーラム「キャリア教育に求められるもの」

キャリア教育の活性化に向けて求められる視角

2005年3月18日

筑波大学 大学院 人間総合科学研究科
助教授 藤田晃之

Career
Education

1. 今日進む教育改革の特質とキャリア教育

■ キーワードとしての多様化

制度・仕組みとしての多様化 = 外から見える多様化

- 例 高校改革における多様化 / 大学改革における多様化

カリキュラム改革としての多様化 = 学校内での多様化

- 例 学習指導要領

- 「多様化」が所期の目的を達成する上での重要な条件
= 多様な選択肢を将来に生かす力の育成

- 緊急対策としての側面を強く有する今日のキャリア教育
推進施策

例 高等学校の多様化

■ 特徴ある学科創設の一例

- 沖縄県浦添商業高校「国際観光科」(1988)
- 熊本県球磨工業高校「建築科・伝統建築コース」(1989)
- 大阪府東住吉高校「芸能文化科」(1993)
- 山梨県峡南高校「建築インテリア科」(1994)
- 兵庫県洲本実業高校「国際リゾート科」(1995)
- 滋賀県長浜農業高校「ガーデン科」(2000)
- 兵庫県舞子高等学校「環境防災科」(2002)
- 大阪府堺女子高校「アクティブアートコース」(2004)

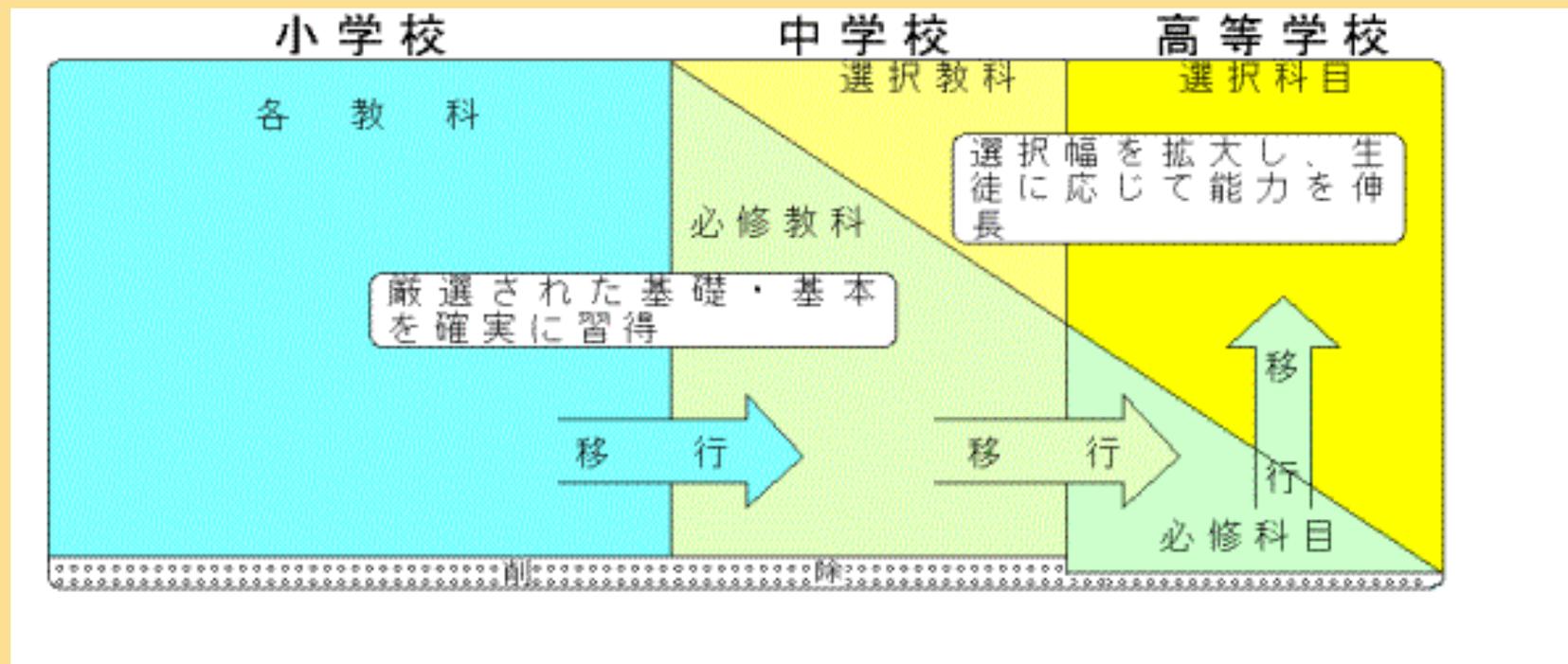
■ 総合学科の導入

1994年に「第3の学科」として導入

47都道府県 3市 218校 (2003年度まで)

2004年度には19都道府県30校の新設

例 学習指導要領における多様化



文部省『新しい学習指導要領のねらいの実現に向けて』より転載

緊急対策としての今日のキャリア教育推進施策

1999年12月

- **中央教育審議会答申「初等中等教育と高等教育との接続の改善について」**
フリーターや早期離職者の増加を食い止める諸方策の筆頭としてのキャリア教育

2003年4月

- **文部科学・厚生労働・経済産業・経済財政政策担当の4大臣による「若者自立・挑戦戦略会議」の設置**
- **同年6月「若者自立・挑戦プラン」発表**
「深刻な現状と国家的課題」との位置づけ
 - 高い失業率、増加する無業者、フリーター、高い離職率など.....
 -国民運動的な取り組みとして、若年者を中心とする「人材」に焦点を当てた根本的対策を早急に講じていく必要がある。

2. 不可欠な2つの力: 内に向かう力、外に向かう力

- 「内に向かう力 (= 自己理解力)」の育成のために
 - 査定用具が描き出す「私」
 - まんじりともせず自己に向き合うこと
 - 人とかかわること、社会とかかわることによって発見・形成される「私」と将来展望
- 「外に向かう力 (= 社会認識力)」の育成のために
 - 「子どもの世界から断絶された知」の伝達を超えて
 - 小さなヒシャクしかもたない者はヒシャク1杯分の水しか汲めない
 - プロアクティブなガイダンスの重要性 「3」へ
 - 職場での学習: 「大過なく実施すること」の次に来るべきものとは「4」へ

3. 成否の鍵を握るプロアクティブな発達支援

- **学校教育の本質 = プロアクティブな働きかけ**
動機づけのための連綿たる試み
新たな視点・視野獲得に向けた支援の蓄積
- **キャリア教育においても求められる同様の働きかけ**
子ども側の関心の弱さ・視野の狭さは不活発な実践の理由になるか？

4 . 職場見学・職場体験・インターンシップをめぐって

■ 推進施策の中核をどう生かすか

小学校での職場見学、中学校での職場体験、高校でのインターンシップ

それぞれの「ねらい」の体系化はなされているか

アメリカにおける体系化から示唆されるもの

体験的学習をどう評価するか / その評価軸を学校と地域(企業・職場)でどう共有するか

職場における学習の多様性と体系

- ミネソタ州の事例 -

職場における学習の形態	実施期間	単位認定者資格*
青少年アプレントイスシップ Youth Apprenticeship	長期***	要
コオペラティブ教育 Cooperative Work Experience		
有給インターンシップ Paid Internship		
メンターシップ Mentorship**	長期 / 短期****	不要
無給インターンシップ Non Paid Internship		
地域奉仕活動 Service-Learning		
ジョブシャドウ Job Shadowing	短期*****	
職場見学 Worksite Field Trip		

[註] *州教育委員会による「職場における学習の単位認定者」としての資格(endorsement)

** 生徒が関心をもつ職種に従事する社会人をメンターとして選任し、社会人・職業人としての指導・支援をおこなうもの。メンターは商工会等における人材バンクへの任意登録者から選任されることが多い

***最低1学期間、通常は1学年あるいはそれ以上にわたって継続的になされる学習

****「長期」の場合の単位認定には、有資格者があたることが望ましい

*****1学期あたり40時間またはそれ以下

Department of Children, Families & Learning, *Connecting Youth to Work-Based Learning: Blueprint for a Quality Program*, 2003, p.23, p.30

5. 「夢」「将来展望」をどう位置づけるか

- 次の学校段階への「先送り」ではなく「申し送り」を
- 切り拓く自らのキャリア: 展望(計画)通りに進むはずのない将来

だから計画そのものが無意味である、ということにはけっしてならない

- 市井のわたしたちは、それでもどっこい生きている
R.W.エマソンの言葉とされる「人生における成功」が示すもの

人生における「成功」とは何か

To laugh often and much;

To win the respect of intelligent people and the affection of children;

To earn the appreciation of honest critics and endure the betrayal of false friends;

To appreciate beauty, to find the best in others;

To leave the world a bit better, whether by a healthy child, a garden patch or a redeemed social condition;

To know even one life has breathed easier because you have lived.

This is to have succeeded.

成功したとは、そういうことだ。

often attributed to Ralph Waldo Emerson
source of the quote: unknown

人生における「成功」とは何か

大いによく笑うこと。

知に満ちた人々からの敬意を得ること。……(中略)……

健康な子ども、

小さな庭、あるいは、

社会的な状況の改善

これらのうちのどれかひとつでも後に残して、世界をほんの少し良きものにし得たこと。

自分の存在によって救いを見いだした人がたったひとりでもいたことがわかること。

成功したとは、そういうことだ。

為し得たことの大小とは
無関係な「成功」のとらえ方。
ひとりひとりを主役の人生を
生きる意義の提示。